

営農ウィークリーNEWS

「京都茄子」圃場にて 黄色LEDランプを利用した害虫防除試験を 開始しました

5月24日、乙訓管内の茄子圃場にて「黄色LEDランプ」を利用した害虫防除試験を京都乙訓農業改良普及センターと共同で開始しました。

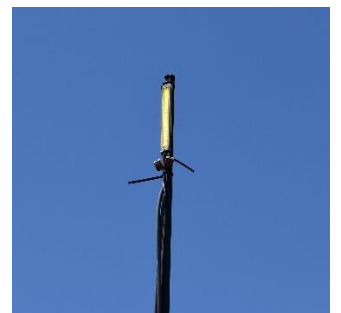
黄色光については、茄子に甚大な被害を与える夜行性のチョウ目害虫の忌避効果がすでに認められており、農薬の使用回数を減らすことが見込まれます。

ソルゴー障壁栽培と合わせ、更なる安全・安心の取組を拡大すると共に、農家の労力軽減と経費削減による農家所得の向上を目指します。

試験の結果は、12月開催予定のナス生産者大会で報告を予定しております。



今回の試験で利用する「黄色LEDランプ」の「レピガードST」は、電源を選ばず使えるのが特徴で、バッテリーやソーラーパネルを使って使用できます。



—TAC information—

「露地ナス圃場にて
各種チョウ目野菜害虫が多発しています!!!」



写真は、ナスの花を加害しているチョウ目害虫の幼虫です。

チョウ目害虫は広食性で、多くの作物を加害します。その一種である「シロイチモジヨトウ」については平成29年に多発しており、平成30年においても注意が必要です!